

# 商工労働部 成果報告

商工労働部長 寺井道博

## 部局達成度

				
2	7	—	3	7
—	3	—	1	6

(うち観光文化局分)

## 総括

商工業の振興では、中小企業者の生産性や企業価値の向上につなげるため、DX等の取組や新技術・新製品の開発への支援を行ったほか、繊維関連事業者の国内外での販路開拓を支援しました。また、市内百貨店や首都圏での物産展の開催により、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の特産品の認知度向上につなげました。

事業承継においては、福井県事業承継・引継ぎ支援センターほか連携中枢都市圏域内の商工団体等との連携体制を強化することで、圏域内の事業承継を促進しました。

企業立地に関しては、県外企業に対して、本市の支援制度や企業が立地するうえでの「強み」をPRし、東京に本社を置く企業のサテライトオフィス開設につなげました。

企業の労働力の確保を図るため、学生や社会人等を対象に、市内企業で働く魅力に加え、充実した子育て環境や住みやすい生活環境を発信し、U・Iターン就職を促進しました。また、若者や女性等、誰もが働きやすい環境を推進するため、雇用の定着や職場環境の整備に取り組む企業を支援しました。

公営競技事業は、コロナ禍においても来場者、選手及び関係者に対する感染防止対策の徹底により事業を継続し、一般会計への繰出金2億3千万円を確保することができました。

観光振興については、本市を旅先に選んでいただくため、観光地の魅力を高める取組として、新たな体験型観光メニューの造成や宿泊事業者への支援などを実施しました。

また、観光ポータルサイト「福いろ」における特集記事やイベント情報発信、インスタグラムにおける動画コンテンツなどにより、閲覧数やフォロワーが増加しました。

観光おもてなし市民推進運動については、オンラインによるおもてなし動画の配信を行ったほか、4年ぶりに観光おもてなし市民運動推進大会を開催し、おもてなしの気運醸成を図りました。

多文化共生のまちづくりについては、昨年度はオンラインで開催したグローバルフェスタを、今年度はハピテラスで開催し、市民が外国文化に触れる機会を設けました。

国際交流の推進については、市政出前講座の開催を広く周知したことや新たに図書館でのイベントを実施したことにより、地域や保育園等へのFCAの派遣回数を増やしました。

福井市民文化祭や市内で活動する各種文化団体への支援のほか、「福井バーチャル文化芸術祭」を開催し、文化芸術活動の推進及び担い手の育成に取り組みました。

各文化施設では、特別展やイベントなどを開催し、入館者の増加を図るとともに、施設の改修やデジタル案内ガイドアプリの導入など、観光客等を受け入れる環境整備にも取り組みました。

## 組織目標ごとの達成状況

### I. 魅力ある産業の育成及び企業立地を推進し、地域の商工業を振興します

企業価値・稼ぐ力向上の推進については、新技術、新製品の開発に関して、開発計画の見直しや原材料の供給不足により、年度内の事業完了に至らなかった企業があり、目標に達しませんでした。その他、市内企業の景気動向の改善度合い、繊維関連事業者の国内外での販路開拓については、目標を達成することができました。来年度も、新製品・新サービスの開発やデジタル技術を活用したDX等の取組への支援を進めます。

企業立地の推進については、県外企業に対して、本市の支援制度や企業が立地する上での「強み」をPRした結果、東京に本社を置く企業がサテライトオフィスを開設するなど、目標を達成することができました。来年度も、企業訪問等により企業の立地意向の把握や支援制度の周知に努めるとともに、各種イベントへの出展を通して本市のPRを行います。

地域資源を活用した商業の振興については、西武福井店での「おいしいふくい大博覧会」の開催や、首都圏商業施設での期間限定アンテナショップの設置等により、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内特産品のPRを行い、「ふくいの恵み」認定商品の販売額は目標を達成することができました。来年度は、北陸新幹線福井開業を契機に、首都圏でのPR活動を強化し、特産品の情報発信や販路拡大を支援します。

### II. 創業や事業承継を促進し、地域産業の活力を高めます

創業の支援については、ビジネスプランコンテストや女性視点での起業に関するセミナーの開催による創業機運の醸成、支援機関による支援内容の拡充等により、創業者数の目標を達成することができました。

事業承継の促進については、ふくい嶺北連携中枢都市圏域の自治体、商工団体等が連携して、セミナーや個別相談会を開催するとともに、窓口での相談対応を行うことで、相談件数の目標を達成することができました。

来年度も創業及び事業承継を支援し、地域産業の活力を高めていきます。

### III. 中心市街地のにぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくります

前年度から引き続き新型コロナの影響によりイベントの自粛傾向が見られ、イベント開催に関する相談窓口である「まちなかイベントプラットフォーム」を活用したイベントの開催件数は目標に達しませんでした。

学生や親子連れが楽しめる、新たな賑わいを生むイベントが増えることで、まちなか全体の活性化につながることを期待されることから、来年度も、相談しやすい環境の構築やイベント設計ワークショップの開催、更には伴走支援を行い、新たなプレイヤーの創出やイベント数の増加を図ります。

#### IV. 市内企業への就職促進や就労機会の創出を図るとともに、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します

市内企業への就職促進については、市内企業で働く魅力に加え、充実した子育て環境や住みやすい生活環境を発信し、U・Iターン就職を促進しました。U・Iターン就職促進事業に参加した学生にアンケートを実施した結果、8割が「福井での就職意識が高まった」と回答しており、U・Iターン就職の意識醸成ができました。今後も、企業訪問や経営者との座談会などを通し、市内企業で働くことや本市で暮らすことの魅力を伝え、U・Iターン就職の促進に取り組みます。

就労機会の創出については、雇用奨励金の交付やハローワークと連携した就職相談会、企業説明会を通して、障がい者など就職につながりにくい人の雇用促進を図りました。

引き続き、就職につながりにくい人の雇用支援を行い、雇用定着につなげていきます。

誰もが働きやすい職場環境づくりの推進では、事業主を対象に、離職防止策のセミナーや高齢者の雇用セミナーを実施しました。参加した事業者の数は目標を達成できせんでしたが、参加した事業者へのアンケート結果では、「参考になった」などの声があり、働きやすい職場環境づくりの推進につなげることができました。

#### V. 公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます

コロナ禍において、来場者及び選手、関係者に対する新型コロナウイルス感染症感染防止対策の徹底により、競輪事業を継続し、令和4年度の車券売上収入は、210億2,736万円となり、前年度と比較すると9.6%上回りました。

この結果、一般会計への繰出金は、目標を大きく上回る2億3千万円を確保することができました。

車券売上収入増加の要因として、電話・インターネット投票の売上が好調であったこと、また、他競輪場に対する臨時場外車券売場設置に係る要請活動の取組や当競輪開催における地元選手の活躍も、要因の一つと捉えています。

今後も、電話・インターネット投票利用者向けの情報提供を拡充するとともに、競輪場施設の利便性の向上による新たな顧客の獲得に向けた取組により、安定した収益の確保に努めます。

## <観光文化局担当>

### VI. (I) 地域資源を活かした体験交流型観光や、宿泊・滞在につながる広域観光を推進します

観光資源の磨き上げについては、コロナ感染症の縮小に伴う観光行動の活発化に合わせて、本市を旅先に選んでいただくため、観光地の魅力を高める取組として、新たな体験型観光メニューの造成や宿泊事業者への支援などを実施しました。

市内観光消費額は、国の観光需要喚起策や訪日外国人の入国上限の撤廃を受けて、観光客入込数としてはコロナ前の8割程度まで回復したものの、県外観光客入込数がコロナ前の5割程度に留まったことから、目標には達しませんでした。

新幹線開業を最大限に活かすため、観光素材の更なる磨き上げとともに、観光客の受入体制の充実に努めます。

### VII. (II) 北陸新幹線福井開業に向け、SNS等の活用による効果的な観光情報発信や受入環境の整備を行います

誘客プロモーションの強化については、令和3年4月より運用している観光ポータルサイトでは、各市町の定番の観光地やローカルスポットのほか、グルメや歴史文化などを特集記事やイベント情報として発信し、特に東京からのアクセスが伸びるなど、閲覧数が飛躍的に増えました。

インスタグラムでは、定期的な投稿に加え、人気の高いショート動画を活用した動画コンテンツを実施し、若い世代から投稿を多くいただき、フォロワー増につながりました。

海外向けには、福井市国際文化交流大使（FCA）による新たなパンフレットの制作や、「越前そば東郷」と連携したフランス・パリにおける観光プロモーションなどを実施し、インバウンドの本格的な再開へ向けて情報発信に取り組みました。

観光客入込数は、10月から開始された国の観光需要喚起策や訪日外国人の入国上限の撤廃を受け、コロナ前の8割程度に戻りましたが目標には達しませんでした。今後は、出向宣伝や商談会をはじめ、国内外に向けたプロモーションを一層強化し観光誘客につなげていきます。

### VIII. (III) 市民や事業所、団体等が一体となったオール福井によるおもてなしを実現します

おもてなしの充実については、オール福井でのおもてなしの実現に向け、観光事業者や市民が気軽に参加できるよう、オンラインでのおもてなし動画の配信を行ったほか、4年ぶりとなる観光おもてなし市民運動推進大会を開催し、おもてなしの機運醸成を図りました。

また、インバウンドの再開に向けた取組として、外国人との会話が抵抗なくできるよう、宿泊事業者を対象とした翻訳アプリを活用したセミナーを開催し、おもてなしの向上を図りました。

おもてなし体験だよりでは、心温まるおもてなしの事例が多く寄せられ、好意的な意見の割合は年々高くなっています。

おもてなし観光ガイドについては、新規ガイドの登録のための講座や、既登録ガイド向けのセミナー等を開催しましたが、応募後の辞退や既登録者の申し出による登録抹消があり、目標には達しませんでした。

今後は、新幹線開業に向けたおもてなし運動の総仕上げとして、更なる機運の醸成を図っていきます。

#### IX. (IV) 外国人を含む誰もが住みたくなる多様性のある豊かなまちをつくとともに、市民の国際理解を深め、グローバルに活躍できる人材を育成します

多文化共生のまちづくりと国際交流の推進については、昨年度はオンラインで開催したグローバルフェスタを、今年度はハピテラスで開催したこともあり国際交流事業等への参加者数が増え、目標を達成することができました。

また、地域や保育園等へのFCAの派遣回数については、市政出前講座の開催を広く周知したことや新たに図書館でのイベントを実施したことにより、派遣回数が増え目標を達成することができました。

今後は国際的に人の往来が再開することで、姉妹友好都市との交流が増えることが見込めることから、FCAと連携しながら姉妹友好都市との交流を深めていきます。

多文化共生においては、来年度は外国人市民と地域住民とのつながりを深める取組を進めることで、日本人と外国人が共に安心して暮らせるとともに、国籍や文化、言語の違いを超えて、相互に理解し合い活躍できるまちづくりを推進していきます。

#### X. (V) 文化芸術活動を振興するとともに、郷土の文化や歴史、自然への理解を深め、観光誘客に活用します

市民文化祭の開催規模縮小や「ふくいバーチャル文化芸術祭」の参加者数減少により、文化芸術活動については目標を達成することができませんでした。来年度は、市民文化祭開催時の制限緩和や新たなイベント等の開催により、文化芸術活動の活性化を図ります。

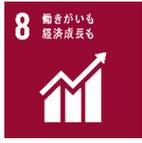
一乗谷朝倉氏遺跡復原町並や養浩館庭園などの文化施設では、入場者が昨年度より大幅に回復したものの、目標を達成することができませんでした。来年度は、養浩館庭園が開園30周年となるため、記念イベント等を開催し、入場者数の増加につなげます。

観光誘客の促進として、日本遺産フェスティバルを開催し、日本遺産の構成文化財である一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園などの魅力を紹介するとともに、ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携事業において、巡回パネル展（合同出張ミュージアム）等を開催し、圏域内の文化資源の魅力発信に取り組みました。来年度も、引き続き他の市町と連携し、観光誘客と交流人口の増加を目指します。

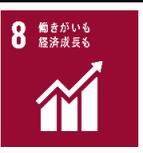
# I. 魅力ある産業の育成及び企業立地を推進し、地域の商工業を振興します

1		DX			達成度	
<b>実行内容</b>						
行動目標	<p>デジタル技術を活用した新製品・新サービスの開発、ビジネスモデルの変革に向けた取組を支援し、市内中小企業者の生産性や企業価値の向上につなげます。</p> <p>また、新たな価値を創出するため、ふくい連携中枢都市圏内の中小企業者の連携を促し、新事業創出の支援を行います。</p> <p>さらに、テキスタイルノベーションプロジェクトを展開し、繊維事業者のECプラットフォームを活用した販路開拓を支援します。</p>					
取組内容	<p>○デジタル技術の活用に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくい企業価値向上人財育成研修会 (10/26、11/9、11/24、12/7、12/21、2/22 参加：10社(約19人))</li> <li>・伴走型企業コンサルティング支援事業 支援企業数：3社</li> <li>・企業価値向上推進補助金 補助件数：3件</li> </ul> <p>○新技術、新製品の開発に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新事業創出支援補助金 (募集期間：4/11～5/31、審査会：6/22、補助件数：4件、中間報告：11/10、年度末報告：3/14)</li> <li>・高付加価値繊維新製品・新技術開発支援補助金 補助件数：1件</li> </ul> <p>○繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ECプラットフォームとリアル展示会を併用した販路開拓、マッチング支援 (展示会期間 5/11～13、1/11～12)</li> <li>・ECプラットフォームの登録事業者募集 新規登録件数：3件</li> </ul>					
<b>指 標</b>						
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>			
<p>④7 市内企業の景気動向の改善度合い ：+5.0ポイント</p> <p>新技術、新製品の開発に対する支援件数(累計) ：13件(3年度)→18件(4年度)</p> <p>繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る 商談成立件数:8件</p>			<p>④7 市内企業の景気動向の改善度合い ：+21.7ポイント</p> <p>新技術、新製品の開発に対する支援件数(累計) ：16件</p> <p>繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る 商談成立件数:20件</p>			
成果・課題	<p>市内企業の景気動向は、社会経済活動の再開や各種経済対策により大きく改善し、目標値を達成することができました。引き続き新型コロナや原油・原材料価格高騰の影響を受ける市内企業を支援していきます。</p> <p>新技術、新製品の開発に関しては、コロナ禍で低下していた中小企業者の開発意欲が高まる中、開発計画の見直しや原材料の供給不足により、年度内の事業完了に至らなかった企業もあり、目標を達成することはできませんでした。引き続き、事業の周知に取り組み、圏域内中小企業者による新技術、新製品の開発を支援していきます。</p> <p>繊維関連事業者の国内外での販路開拓については、ECプラットフォームのマッチング機能の強化や登録事業者の増加、リアル展示会を併用した販路開拓により、目標を達成することができました。</p>					

2	企業立地の推進	 8 働きがいも 経済成長も	 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、福井市企業立地戦略（令和4年度～8年度）に基づき、企業立地を推進します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、東京事務所と連携した企業訪問等により、県外企業に対して本市の支援制度や企業が立地するうえでの「強み」をPRします。</p>				
	取組内容	<p>○企業立地支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業に対する支援制度の情報発信</li> <li>・企業立地助成金等の活用に向けた企業との協議及び企業立地支援指定           <ul style="list-style-type: none"> <li>*企業立地支援指定数：9件</li> </ul> </li> <li>・空き工場、空きオフィス登録に向けた不動産会社等との協議、調整           <ul style="list-style-type: none"> <li>*空き工場等新規登録：4件</li> <li>*空きオフィス新規登録：3件</li> </ul> </li> <li>・空き工場、空きオフィス登録の促進や土地情報の収集と企業への情報発信</li> </ul> <p>○企業訪問等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問による情報交換や立地意向の把握</li> <li>・「企業立地フェア」（5月、東京ビッグサイト）への出展</li> <li>・立地意向アンケート調査（6月）：500社</li> <li>・立地意向アンケート調査の結果に基づく企業への情報提供と関係強化</li> <li>・「北陸技術交流テクノフェア2022」（10月）での支援制度の周知</li> <li>・「福井市応援隊交流会2022」（10月）での支援制度の周知</li> <li>・「サテライトオフィス・マッチングセミナー」（10月、東京）での支援制度の周知</li> <li>・「福井県企業立地・港セミナーin東京」（11月）での支援制度の周知、本市のPR</li> </ul>			
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
市外からの企業誘致数 : 1件（3年度）→2件（4年度）			市外からの企業誘致数：2件		
成果・課題	<p>県外企業に対して、本市の支援制度や企業が立地するうえでの「強み」をPRした結果、東京に本社を置く企業がサテライトオフィスを開設するなど、目標を達成することができました。</p> <p>引き続き、企業訪問等により企業の立地意向の把握や支援制度の周知に努めるとともに、各種イベントへの出展を通して本市のPRを行うなど、本市への企業立地を推進します。</p>				

3	地域資源を活用した商業の振興		達成度	
<b>実行内容</b>				
行動目標	<p>市内百貨店における「おいしいふくい大博覧会」や、北陸新幹線福井開業に向けた首都圏での物産展を開催し、「ふくいの恵み」認定商品をはじめ、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の特産品の認知度向上を図ります。</p> <p>また、福井ならではの新たなモノ・サービスを提供するオンライン物産展を開催し、福井ファンの獲得を目指します。</p>			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「おいしいふくい大博覧会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/8～6/13 西武福井店 6階催事場（44 事業者（うち認定事業者 26）参加）</li> </ul> </li> <li>○ふくい嶺北連携中枢都市圏内の特産品を販売する物産展等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/6～7/12 日本橋三越本店「福井市納涼フェア」</li> <li>・12/27～1/9 福福館 市町PRコーナー</li> </ul> </li> <li>○「福いいネ！アンテナショップ」の設置 <p>北陸新幹線福井開業に向け、首都圏商業施設に期間限定のアンテナショップを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/8～8/23 上野マルイ</li> <li>・9/5～9/18 マルイシティ横浜</li> <li>・10/1～10/20 大宮マルイ</li> <li>・11/1～11/24 新宿マルイ</li> <li>・12/16～12/23 丸井吉祥寺店</li> </ul> </li> <li>○「ふくいのいいコト、いいモノチャレンジプロジェクト」の開催 <p>オンライン物産展を開催し、市内事業者のクラウドファンディングによる新たな取組を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/21～11/29 クラウドファンディングサイト、マクアケ上で開催（12 事業者参加）</li> </ul> </li> <li>○「販路開拓セミナー＆商談会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3/23 18 事業者参加</li> </ul> </li> </ul>		
<b>指 標</b>				
<b>計画</b>		<b>結果・成果</b>		
「ふくいの恵み」認定商品販売額 ：467,749 千円（3 年度）→ 500,000 千円（4 年度）		「ふくいの恵み」認定商品販売額：906,383 千円		
成果・課題	<p>「おいしいふくい大博覧会」は、これまでの実績を踏まえながら、来場者にとって魅力的な企画の実施やレイアウトの工夫により、市内の消費需要を取り込み、認定商品及び福井の食の普及・振興を着実に進めることができました。</p> <p>県外での取組としては、東京事務所、農林水産部と連携し、日本橋三越本店での商品販売を行うほか、北陸新幹線福井開業に向け、首都圏商業施設に期間限定のアンテナショップを設置し、首都圏での認知度向上を強化しました。</p> <p>商品開発や販路拡大の支援としては、「ふくいのいいコト、いいモノチャレンジプロジェクト」により、市内事業者の新たな挑戦を後押しするとともに、「販路開拓セミナー＆商談会」では、魅力的なふるさと納税返礼品についての知識の習得やバイヤーとの商談機会の提供を行いました。</p> <p>来年度は、北陸新幹線福井開業を契機に、首都圏でのPR活動を強化し、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の魅力的な特産品の情報発信、販路拡大を支援します。</p>			

## II. 創業や事業承継を促進し、地域産業の活力を高めます

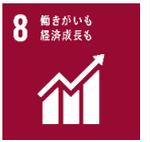
4	創業の支援			達成度	
<b>実 行 内 容</b>					
行動目標	<p>本市産業の活力を高めるため、創業支援事業者や金融機関など関係機関との連携を強化し、創業者への支援充実に努めます。</p> <p>また、地域課題の解決が見込まれる事業者等の創業に対し、初期費用を支援することで、地域経済の活性化を目指します。</p>				
取組内容	<p>○市内での創業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱意ある創業支援事業補助金 補助件数1件（移住・定住部門）</li> <li>・創業支援資金 利用8件</li> <li>・創業支援等事業計画に基づく創業者数 117人 （熱意ある創業支援事業補助金、創業支援資金〔市〕、ワンストップ相談窓口、開業セミナー〔商工会議所〕、創業ハンズオン支援〔アントレセンター〕など）</li> </ul> <p>○ビジネスプランコンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラン募集（6/1～10/31） 学生の部：87件、一般の部：31件</li> <li>・ビジコンミーティング（プラン作成講座）全4回 最終選考会（2/4）</li> </ul> <p>○女性視点の起業と事業承継を考えるセミナー（3/2） 参加者81人</p>				
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
 48 市内での創業者数 : 90人			 48 市内での創業者数 : 117人		
成果・課題	<p>市内での創業者数については、創業機運の醸成や支援機関における支援内容の拡充により、目標を上回りました。</p> <p>近年、市内での創業希望者が増加しており、この好循環を維持することが重要です。来年度も、資金面での支援に加え、ビジネスプランコンテストやセミナーの開催による創業機運の醸成に向けた取組を継続するとともに、支援機関との連携をさらに強化し、創業の促進を図ります。</p>				

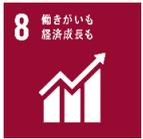
5	 <b>新事業承継の促進</b>	 8 福井がいつも 経済成長も	 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	達成度	
<b>実 行 内 容</b>					
行動目標	<p>本市経済の活力維持のため、福井県事業承継・引継ぎ支援センターをはじめ、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の商工団体等と連携し、圏域内における事業承継への支援を強化します。</p> <p>また、事業承継を進める事業者に対し資金面での支援を行うことで、中小企業者の技術やノウハウの引継ぎを促し、地域経済の活力維持を図ります。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふくい嶺北連携中枢都市圏事業承継推進プロジェクト           <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談会の開催（11月） 相談 23件</li> <li>・窓口相談 3件</li> </ul> </li> <li>○親族事業承継計画作成セミナー（8/23） 参加者 18人</li> <li>○事業承継促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継促進事業補助金 補助件数 3件（親族内承継部門 1件、第三者承継部門 2件）</li> </ul> </li> <li>○事業承継の広報           <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報ふくい（10/25号） 個別相談会開催案内の掲載</li> <li>・市行政チャンネル ふくチャンネル（3/1～3/15放送分）</li> <li>いきいき情報福井「事業承継～育てた事業を次の世代へ～」</li> <li>市内事業者による親族内承継と第三者承継の事例を紹介</li> <li>・ふくい嶺北連携中枢都市圏構成市町及び商工団体等にセミナー及び相談会について案内</li> </ul> </li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
事業承継相談件数 : 11件（3年度）→12件（4年度）			事業承継相談件数：26件		
成果・課題	<p>ふくい嶺北連携中枢都市圏域での事業承継推進プロジェクトを通じた個別相談会の開催や窓口での相談対応により、目標を上回る事ができました。</p> <p>事業承継は全国的な経営課題となっており、ますます市内事業者の事業承継への支援が重要となっています。来年度も、福井県事業承継・引継ぎ支援センターと連携を図りながら、個別相談会等を通じて、後継者不在の事業者を適切にサポートしていきます。</p>				

### Ⅲ. 中心市街地のにぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくります

6	まちなかにおける民間主体の賑わいづくりの促進			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	まちなかの賑わいを高めるため、団体や学生によるまちなかでの活動を伴走支援し、新たなプレイヤーの育成や、まちなかでのイベントの増加と定着を図ります。 また、福井に関心を持つ都市人材が福井のプレイヤーとまちなかで活動する場を創出することで、まちなかの魅力向上につなげます。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちなかでのイベント開催に関する支援                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかイベントプラットフォーム（イベント開催に関する相談窓口）を設置（イベント件数：9件）</li> <li>企画内容の相談、集客や広報に関するアドバイス、スポンサー獲得に向けたサポートを個別に実施したほか、プレイヤー向けセミナー、ワークショップを開催しイベント開催の支援を行った。</li> <li>・賑わいづくりに寄与するイベントに対し、開催費用の一部を支援（利用件数：3件）</li> </ul> </li> <li>○まちなか「アオハル」プロジェクト                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が自ら考え、主体となって、学生が楽しめるまちなかにするための企画を実現</li> <li>【大学生 Fes.（大学生）】 10/10（月・祝）ハピテラス、新栄商店街 大学生プレイヤー：10人 参加者：1,600人 企画：9企画（吹奏楽演奏、コスプレライブ、スケボー体験、多文化紹介 等）</li> <li>【アオハルフェス（高校生）】 10/30（日）ハピテラス、アップルロード 高校生プレイヤー：24人 参加者：3,000人 企画：11企画（オタクカフェ、ダンス、カフェストリート、JK文化祭、スイーツ販売 等）</li> </ul> </li> <li>○トライアル逆参勤交代                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・都内で働くビジネスパーソンを福井に呼びこみ、フィールドワークや交流を通して、リノベーションまちづくりに向けたプラン作成、プレゼンテーションを実施</li> <li>10/25 東京講座 参加者：23人</li> <li>11/27～29 福井市フィールドワーク 参加者：11人</li> </ul> </li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計画</b>			<b>結果・成果</b>		
まちなかイベントプラットフォーム事業を活用したイベントの件数：9件（3年度）→10件（4年度）			まちなかイベントプラットフォーム事業を活用したイベントの件数：9件		
成果・課題	前年度から引き続き、新型コロナの影響によりイベントの自粛傾向が見られたなか、感染状況の改善に伴いイベントに関する相談件数は増加したものの、イベント開催は9件となりました。目標を達成することはできませんでしたが、学生企画のイベントや親子連れの参加など、これまでになかった賑わいが新たに生まれており、まちなか全体の活性化につながることが期待されます。 また、学生が楽しめるイベントをまちなかを舞台に企画し、学生自らが企画運営することで、まちなかの賑わい創出と福井への愛着、まちづくりのプレイヤー育成につなげることができました。 来年度も、相談しやすい環境の構築やイベント設計ワークショップの開催、さらには伴走支援を行うことで、イベント実施を促すとともに、新たなプレイヤーの創出を図っていきます。				

#### IV. 市内企業への就職促進や就労機会の創出を図るとともに、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します

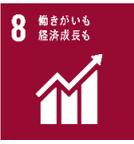
7	 市内企業への就職促進		達成度	
<b>実行内容</b>				
行動目標	<p>人口減少や若者の県外流出により生産年齢人口が減少する中、安定した労働力を確保するため、高校生や大学生、県外在住の社会人に対し、就活イベントや民間企業訪問等を通して、市内で働く魅力を伝え、市内企業への就職に繋がります。</p>			
取組内容	<p>○地元高校生を対象に、地元企業の魅力を伝えるため企業訪問を実施 開催日：8/1、19 参加者：7人</p> <p>○大学生等を対象に、ふくいU・Iターンサマーキャンプ（インターンシップ）を実施 開催日：8/22～26 参加者：19人</p> <p>○大学生等を対象に、企業訪問ツアーを実施 開催日：2/14～15、2/16～17 参加者：19人</p> <p>○社会人を対象に、企業訪問や移住に関する情報提供を行う就職支援ツアーを実施 開催日：6/17、7/15、9/22、10/14 参加者：5人</p> <p>【令和4年度における就職状況調査の結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去に大学生等を対象とした事業に参加した者のうち、令和5年3月に大学を卒業し、市内企業に就職した人数：16人</li> <li>令和3年度の社会人を対象とした事業に参加した者のうち、令和5年3月までに、市内企業に就職した人数：1人</li> </ul>			
<b>指 標</b>				
<b>計 画</b>		<b>結 果・成 果</b>		
 49 市の就労支援を受けた者が 市内企業へ就労した割合：35.3%		 49 市の就労支援を受けた者が 市内企業へ就労した割合：44.7%		
成果・課題	<p>地元高校生を対象に、生徒が希望する市内企業を訪問し、企業の魅力や特色を伝える事業を実施しました。また、事業に参加した生徒の声や事業の様子を掲載した企業情報誌を、県内高校1年生全員に配布することで、参加していない生徒に同世代の活動状況を伝え、地元就職への意識付けを図りました。</p> <p>大学生に対しては、企業訪問や経営者との座談会、U・Iターン者との意見交換会などを通じて、市内企業で働くことのメリットや企業の魅力を伝える「ふくいU・Iターンサマーキャンプ」、「企業訪問ツアー」を実施しました。この事業に参加した学生のうち市内企業へ就労した割合は、目標数値を上回ることができました。今後も、本市の優れた企業や産業の魅力を伝えることで、市内企業への就労に努めます。</p> <p>社会人に対しては、希望に沿った企業への訪問に加え、その家族が教育や子育て環境を確認できる「週末就活」を実施し、1名が就職に繋がりました。今後は、本市への移住希望者を対象に、この事業内容の理解を深めてもらう「オンライン座談会」を開催し、事業への参加を促し、本市へのU・Iターン就職に繋がります。</p> <p>今後も、各事業の周知に努めるとともに、各事業の強みである企業訪問を通して、市内企業の魅力や、本市で働くことのメリットを伝え、U・Iターン就職に繋がっていきます。</p>			

8	就労機会の創出と働き方改革の推進		
<b>実 行 内 容</b>			
行動目標	<p>雇用の安定を図るため、障がい者や高齢者、出産や子育てを機に離職した女性などを対象に、特性やライフステージに応じたセミナーや面接会を開催し、就労への機会を創出します。</p> <p>また、企業に対し、働き方改革に関するセミナーの開催や奨励金の交付を通じて、働き手の希望やライフステージに応じて生き活きと働き続けることができる職場環境の改善に向けた取組を働きかけます。</p>		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい者や母子家庭などの母等の、更なる雇用定着を図る奨励金支給 支給件数：22件</li> <li>○就職に関し悩みを抱える若者に対し就職相談会の開催 開催日：7/20、12/16、2/21、3/14 参加者6組</li> <li>○就職に必要な書類の書き方や面接時のマナーなどが学べる障がい者向け就職支援セミナーの開催 開催日：9月3回（28日、29日、30日）…セミナー 10月8回（4日、6日、7日、12日、14日、18日、24日、25日）…各企業との面接会 11月1回（8日）…面接会の振り返り 参加者5人 就職者数：2人</li> <li>○一度に複数の企業と面接ができる子育てママのための就職説明会の開催 開催日：1/24、1/31、2/7 参加者17人 就職者数5人</li> <li>○高齢者雇用推進セミナー 開催日：10/12 参加企業36社</li> <li>○働き方改革セミナー 開催日：10/18 参加企業27社</li> </ul>		
<b>指 標</b>			
<b>計 画</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>⑤0 市内民間企業の障がい者雇用率：2.58% 多様な人材活用や職場環境改善に関するセミナーへの参加企業数：62社（3年度）→70社（4年度）</p>		<p>⑤0 市内民間企業の障がい者雇用率：2.57% 多様な人材活用や職場環境改善に関するセミナーへの参加企業数：63社</p>	
成果・課題	<p>就労の機会を創出するため、障がい者や母子家庭の方などを対象とした雇用奨励金の支給に加え、就職に悩む若者や障がい者、女性を対象にした相談会やセミナーなどを実施しました。</p> <p>障がい者向け就職セミナーでは、参加者のうち2人が就職に繋がりました。また、再就職を希望する女性を対象にした就職説明会では、3日間で25社の企業が参加し、企業からの説明や面談を実施したことで、5人が就職に繋がりました。</p> <p>対象者に応じて事業を実施してきましたが、目標数値である市内民間企業の障がい者雇用率が達成できませんでした。その要因としては、100人以下の企業において障がい者雇用についての理解が深まっていないためと考えます。今後はこれらの企業に対し、中小企業雇用相談員が企業訪問する際に、法定雇用率の達成が障害者雇用促進法で義務づけられていることや障がい者雇用に関する支援制度、相談窓口など雇用促進に必要な情報を提供し、障がい者雇用率向上に努めます。</p> <p>働き方改革を推進するために実施した各種セミナーでは、新型コロナウイルス感染症に関する行動の制限はありませんでしたが、多数の企業が感染対策のため参加を見送ったことで、目標を達することができなかつたと考えます。今後は、対面に加えオンラインによる受講を検討するなど、参加企業の増加に努めていきます。</p> <p>引き続き、雇用情勢や職場環境の課題を踏まえながら、各種の事業に取り組み、就労の機会の創出や働き方改革を推進していきます。</p>		

## V. 公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます

9	競輪事業の継続		達成度	
<b>実行内容</b>				
行動目標	<p>競輪事業は、社会の振興・発展や公益増進、地方財政健全化を目的としており、本市においても昭和25年の開設以来、一般会計への繰り出しを行い本市の振興と財政健全化に寄与してきたところであります。</p> <p>今後も、本市の収益事業としての責務を果たすため、新たに「モーニング競輪」を開催するとともに、臨時場外車券売場の拡充に向けた要請活動や新たな顧客の獲得に向けて取り組むことで車券売上収入の増加を図り、安定的・継続的に収益を確保します。</p>			
取組内容	<p><b>【競輪開催事業等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症感染防止対策による有観客での開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>・競輪関係団体により策定された「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症対策要綱」、「福井県のイベント制限」を遵守</li> </ul> </li> <li>○本場開催:21 開催 64 日             <ul style="list-style-type: none"> <li>GⅢ(4日制)1 開催 4 日(7月:開設72周年記念競輪)</li> <li>FⅠ(3日制)7 開催 21 日(5月:1 開催、6月:1 開催、9月:1 開催、11月:2 開催、3月:2 開催)</li> <li>FⅡ(3日制)13 開催 39 日(4月:1 開催、5月:3 開催、8月:1 開催、9月:2 開催、10月:2 開催、11月:2 開催、12月:1 開催、2月:1 開催)</li> </ul> </li> <li>*うち、大垣競輪場借上げによるミッドナイト競輪(5月:1 開催、9月:1 開催、12月:1 開催、2月:1 開催)</li> <li>*うち、モーニング7競輪(8月:1 開催、9月:1 開催、10月:1 開催、11月:1 開催)</li> <li>○場外発売:542 日(延日数)</li> <li>○車券売上収入:210 億 2,736 万円</li> <li>○福井競輪事業収益向上推進委員会及び要請活動の実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳:収益向上推進委員会(6月、11月)</li> <li>要請活動:和歌山・岸和田(4月)、広島・小倉(11月)、静岡・豊橋(1月)</li> </ul> </li> <li><b>【新規顧客獲得及びファンサービス等】</b></li> <li>○ホームページリニューアル(4月)    ○YouTubeにて、福井けいりんチャンネル配信開始(4月)</li> <li>○初心者を対象にした自転車初乗り教室「ファミチャリフェスタ」を開催(9月)</li> <li>○電話・インターネット投票利用者に対するキャッシュバックキャンペーン(4~11月、3月)</li> <li>○GⅠ、GP優勝報告会の実施(5月柳原選手、6月脇本選手、1月脇本・柳原選手)</li> <li>○初心者ガイダンス(年54回)    ○来場者へのファンサービスの実施(年13回)</li> </ul>			
<b>指 標</b>				
<b>計画</b>		<b>結果・成果</b>		
一般会計への繰出金：150,000 千円		一般会計への繰出金：230,000 千円		
成果・課題	<p>来場者、選手及び関係者に対する新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底し、有観客による競輪開催を継続することができました。</p> <p>車券売上収入は、210 億 2,736 万円となり、前年度と比較して9.6%増となりました。特に今年度新たに導入した「モーニング競輪」や「ミッドナイト競輪」開催における電話・インターネット投票の車券売上が顕著であり、車券売上収入増加の大きな要因と捉えています。</p> <p>今後も、電話・インターネット投票利用者向けの情報提供の拡充や、「モーニング競輪」の開催数を増やすとともに、競輪場施設の利便性の向上による新たな顧客の獲得に向けた取組により、安定的な収益の確保に努めます。</p>			

VI. (I) 地域資源を活かした体験交流型観光や、宿泊・滞在につながる広域観光を推進します

10	観光資源の磨き上げ		達成度	
<b>実行内容</b>				
行動目標	<p>ふくい嶺北連携中枢都市圏など、広域の地域資源を活かした多様な体験型観光プログラムや周遊観光プランの提供等により、観光メニューを充実させ、観光地としての魅力を高めます。</p> <p>また、観光拠点である「一乗谷」「まちなか」「越前海岸」の歴史や自然、食といった魅力ある素材の磨き上げを行うことで、宿泊を伴う観光の促進を図り、観光消費額の拡大につなげます。</p>			
取組内容	<p>体験型観光プログラムの造成等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅の体験手帳「ふくのね」 vol.8 発行（10月）（32件）、vol.9 発行（3月）（34件）</li> <li>・【新規】越前海岸トラベルパスポート（3月）（体験型8件）</li> <li>・観光チケット販売（幸 FULL TICKET）（4月～）、観光ツアー（幸 FULL TOURS）催行（6回）</li> </ul> <p>「一乗谷」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝倉永平寺連絡バス運行（4月～）、復原町並の SNS 映えスポット「和傘スカイ」（4～11月）</li> <li>・朝倉氏遺跡・戦国宝探しゲーム（7～10月）、【新規】朝倉もてなし膳提供開始（10月～）</li> <li>・【新規】越美北線観光利用促進事業 ラッピング列車、御乗印販売（10月～）、イベント列車（11月）、越前東郷駅舎装飾（11月～）、東郷駅発着まち歩き（10月、3月）</li> </ul> <p>「まちなか」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくい桜まつり（3～4月） ライトアップ、ふくい桜城下町等</li> <li>・夜間観光促進事業 【新規】デジタルアートコンテンツ造成（3月） ナイトキャンペーン（9～11月）</li> <li>・【新規】まちなかお散歩MAPの作成（11月）</li> </ul> <p>「越前海岸」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【新規】越前海岸トラベルパスポート（再掲） ・海水浴場イベント（7～8月）</li> <li>・こしの水仙まつり（1月） ・園地整備（鉾島、小丹生）</li> </ul> <p>宿泊者増への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恐竜ホテル改修支援（3件） ・【新規】がんばる宿泊事業者応援事業（25件）（8～2月）</li> <li>・酒蔵ある記キャンペーン（4月～） ・千歳くんはラムネ瓶のなかコラボ事業（8～10月）</li> <li>・【新規】宿泊割引「福いいネ！クーポン」（9～2月）</li> <li>・【新規】福いいネ！スタンプラリー（8～11月）</li> </ul>			
<b>指 標</b>				
<b>計画</b>		<b>結果・成果</b>		
<p>体験交流型観光メニュー数 ：67件（3年度）→72件（4年度）</p> <p>⑤1 市内観光消費額：171億円（3年度） →292億円（4年度）</p>		<p>体験交流型観光メニュー数 ：74件</p> <p>⑤1 市内観光消費額 ：218億円</p>		
成果・課題	<p>新型コロナ感染症の行動制限の緩和に伴う観光需要の回復に合わせて、本市を旅先に選んでいただくため、観光地の魅力を高める取組として、新たな体験型観光メニューの造成や宿泊事業者への支援などを実施しました。</p> <p>市内観光消費額については、消費額の高い宿泊を伴う県外観光客の入込数が伸びず、目標には達しませんでした。</p> <p>新幹線開業を最大限に活かすため、観光素材のさらなる磨き上げとともに、観光客の受入体制の充実に努めます。</p>			

Ⅶ. (Ⅱ) 北陸新幹線福井開業に向け、SNS等の活用による効果的な観光情報発信や受入環境の整備を行います

11	誘客プロモーションの強化		達成度	
<b>実 行 内 容</b>				
行動目標	<p>北陸新幹線福井開業に向け、観光ポータルサイト「福いろ」を活用し、ふくい嶺北連携中枢都市圏内の幅広い観光情報を発信します。また、画像や動画により魅力を伝えることができ、訴求力が高いInstagramなどのSNSや、対象の年齢や興味などターゲットを絞ることができるウェブ広告を活用した効果的な宣伝広告を行い、観光誘客の拡大につなげます。</p> <p>さらに、SNS等を活用し、海外向けにも多言語での情報発信を積極的に行うほか、県等と連携しながら、外国人観光客が快適に過ごせるようインバウンド受入環境の整備に取り組みます。</p>			
取組内容	<p>観光ポータルサイト「福いろ」の運用 (4月～)</p> <p>SNSによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブック (いごこち満点ふくい) ・YouTube (福井市観光)</li> <li>・Instagram (福いいネ!くん) 福いいネ!動画コンテスト (7～9月)</li> </ul> <p>WEB広告・ポスター集中掲出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【新規】YouTube動画広告(桜)配信 (12～3月)</li> <li>・【新規】全日空旅行サイト内への特集掲載 (2～3月)</li> <li>・【新規】デジタルサイネージ広告(JR東京駅新幹線乗換口) (3月)</li> <li>・【新規】連携中枢都市圏内桜の名所ポスター(JR東京駅八重洲口) (3月)</li> <li>・Instagram広告(旅の体験手帖ふくのね、粹福、デジタルスタンプラリー等)</li> </ul> <p>出向宣伝や商談会、新幹線沿線都市での観光PR等(東京、長野、埼玉、茨城等)</p> <p>海外向け情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【新規】外交官向けインバウンド需要アンケート調査 (5月実施、7月結果公表)</li> <li>・【新規】インバウンド向けパンフレットの制作・配布 (英語・仏語版で計11,000部)</li> <li>・台湾レップとのオンライン情報交換会(4回)</li> <li>・【新規】「越前そば東郷」と連携したフランス・パリにおける観光プロモーション (12/19～1/14)</li> </ul>			
<b>指 標</b>				
<b>計 画</b>		<b>結 果・成 果</b>		
市ポータルサイト閲覧数(単位:ページビュー)		市ポータルサイト閲覧数		
:38万(3年度)→40万(4年度)		:163万ページビュー(見込み)		
市観光SNS等フォロワー数(単位:フォロワー数)		市観光SNS等フォロワー数		
:7,442(3年度)→9,000(4年度)		:10,430フォロワー(見込み)		
市内観光客入込数		市内観光客入込数:324万人		
:271万人(3年度)→446万人(4年度)				
成果・課題	<p>令和3年4月より運用している観光ポータルサイトでは、各市町の定番の観光地やローカルスポットのほか、グルメや歴史文化などを特集記事やイベント情報として発信し、特に東京からのアクセスが伸びるなど、閲覧数が飛躍的に増えました。</p> <p>Instagramでは、定期的な投稿に加え、人気の高いショート動画を活用した動画コンテストを実施し、若い世代から投稿を多くいただき、フォロワー増につながりました。</p> <p>海外向けには、福井市国際文化交流大使(FCA)による新たなパンフレットの制作や、「越前そば東郷」と連携したフランス・パリにおける観光プロモーションなどを実施し、インバウンドの本格的な再開へ向けて情報発信に取り組みました。</p> <p>観光客入込数は、10月からの国の観光需要喚起策や訪日外国人の入国上限の撤廃を受け、昨年より増加しましたが、目標には達しませんでした。今後は、出向宣伝や商談会をはじめ、国内外に向けたプロモーションを一層強化し観光誘客につなげていきます。</p>			

Ⅷ. (Ⅲ) 市民や事業所、団体等が一体となったオール福井によるおもてなしを実現します

12	おもてなしの充実		達成度	
<b>実行内容</b>				
行動目標	<p>福井を訪れる観光客を温かく迎え入れ、再び訪れたいと思っただけけるよう、「観光おもてなし市民運動」に取り組み、市民や事業所、団体等が一体となったオール福井によるおもてなしの気運を醸成します。</p> <p>また、観光に関する知識やお客様への対応力を備え、第一線で活躍する「おもてなし観光マイスター」や「おもてなし観光ガイド」を育成し、おもてなし力や観光客の満足度の向上につなげます。</p>			
	取組内容	<p>観光おもてなし市民運動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもてなし体験日より募集 (1~12月)</li> <li>・観光おもてなし市民運動推進会議 (5月、2月)</li> <li>・観光おもてなしオンライン講習会 (11~2月) 参加者 86人</li> <li>・観光おもてなしマイスター認定研修・認定試験 (11、12月) 受講者 14人 認定者 9人</li> <li>・観光おもてなしスーパーマイスター研修 (11、12月)</li> <li>・観光おもてなし大賞表彰 (3月) 受賞 3団体</li> <li>・観光おもてなし市民運動推進大会 (3月) 参加者約 150人</li> </ul> <p>おもてなし観光ガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光おもてなしガイド案内 (オーダーメイド、募集型、無料定時) 145回 (4月~)</li> <li>・観光おもてなしガイドセミナー 4回 (4月、11月、1月、2月)</li> <li>・観光おもてなしガイド講座 (10~11月) 応募者 7人 認定者 5人</li> </ul> <p>海外旅行者向け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通訳ガイド育成動画公開 (vol.10 福井城址編 7月、vol.11 鯖江市編 12月、vol.12 あわら温泉編 2月)</li> <li>・【新規】翻訳アプリを活用した外国人との会話練習セミナー (1月18日) 参加者 18人</li> </ul>		
<b>指 標</b>				
<b>計画</b>		<b>結果・成果</b>		
<p>⑤3 福井市を訪れて良かったと感じた人の割合：96.0%</p> <p>おもてなし観光ガイド登録者数：71人(3年度末)→78人(4年度末)</p>		<p>⑤3 福井市を訪れて良かったと感じた人の割合：96.4%</p> <p>おもてなし観光ガイド登録者数：67人</p>		
成果・課題	<p>オール福井でのおもてなしの実現に向け、観光事業者や市民が気軽に参加できるよう、オンラインでのおもてなし動画の配信を行った他、4年ぶりとなる観光おもてなし市民運動推進大会を開催し、おもてなしの機運醸成を図りました。</p> <p>インバウンドの再開に向けた取組として、外国人との会話が抵抗なくできるよう、宿泊事業者を対象とした翻訳アプリを活用したセミナーを開催し、おもてなしの向上を図りました。</p> <p>おもてなし体験日よりでは、心温まるおもてなしの事例が多く寄せられ、好意的な意見の割合は年々高くなっています。</p> <p>おもてなし観光ガイドについては、新規ガイドの登録のための講座や、既登録ガイド向けのセミナー等を開催しましたが、応募後の辞退や既登録者の申し出による登録抹消があり、目標には達しませんでした。</p> <p>今後は、新幹線開業に向けたおもてなし運動の総仕上げとして、さらなる機運の醸成を図っていきます。</p>			

IX. (IV) 外国人を含む誰もが住みたくなる多様性のある豊かなまちをつくとともに  
市民の国際理解を深め、グローバルに活躍できる人材を育成します

13	多文化共生のまちづくりと国際交流の推進			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>外国人市民等が日常生活における問題点とその解決策等について話し合う場や、市民が外国文化に触れる機会を設けることにより、多文化共生のまちづくりを推進します。</p> <p>また、海外姉妹友好都市との市民交流（オンラインを含む）や、福井市国際文化交流大使（FCA）による地域活動等を通じて、市民の国際理解を深めます。</p>				
取組内容	<p>○海外姉妹友好都市交流事業</p> <p>【米国・フラトン市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フラトン市訪問団受入れ（3/23～25）訪問団 26 人</li> </ul> <p>【中国・杭州市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中韓 3 か国地方政府交流会議にて杭州市とのオンライン交流（11/4）参加者 9 人</li> <li>・余杭文昌高級中学と足羽高等学校とのオンライン交流（11、2 月）参加者 68 人</li> </ul> <p>【韓国・水原市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水原市とのオンライン市民交流（月 1 回）延べ 171 人</li> <li>・水原市華城文化祭への市民訪問団派遣（朝倉無限隊 夢幻。）（10/7～10）訪問団 8 人</li> </ul> <p>【福井市国際文化交流大使（FCA）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内保育園等との交流や地域行事への参加（88 回）</li> <li>・市政出前講座（国際交流）（5 回） ・「ふくい市民国際交流協会」実施事業への参画（3 回）</li> <li>・職員向け英会話研修、FCA 活動報告会（1/31）等（13 回）</li> </ul> <p>○多文化共生推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人防災対策（災害時外国人支援研修会（8/20、9/22）、総合防災訓練（6/26））延べ 52 人</li> <li>・外国人市民座談会（9/4）16 人 ・グローバルフェスタ 2022（10/2）3,600 人</li> <li>・外国人市民日本文化体験（6 回）延べ 82 人 ・福井の歴史文化通訳研修（3 回）延べ 83 人</li> <li>・異文化理解推進事業（ワールドキッズクラブ、料理教室等）（9 回）延べ 224 人</li> <li>・日本語支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒への日本語初期指導 1,520 人（ウクライナからの避難児童含む）、</li> <li>学校への通訳派遣 12 人、交流型日本語教室「しゃべり場」（23 回）延べ 345 人、</li> <li>児童生徒サポーター研修会（11/1、3/6）延べ 23 人</li> </ul> </li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<p>② 国際交流事業等への市民参加者数 ：1,912 人（3 年度）→6,000 人（4 年度）</p> <p>地域や保育園等への FCA の派遣回数 ：87 回（3 年度）→100 回（4 年度）</p>			<p>② 国際交流事業等への市民参加者数：6,240 人</p> <p>地域や保育園等への FCA の派遣回数：109 回</p>		
成果・課題	<p>国際交流事業等への市民参加者数については、昨年度はオンラインで開催したグローバルフェスタを、今年度はハピテラスで開催したこともあり参加者数が増え、目標を達成することができました。</p> <p>また、地域や保育園等への FCA の派遣回数については、市政出前講座の開催を広く周知したことや新たに図書館でのイベントを実施したことにより、派遣回数が増え目標を達成することができました。3 月にはフラトン市訪問団が来福されましたが、今後は国際的に人の往来が再開することで、姉妹友好都市との交流が増えることが見込まれることから、FCA と連携しながら姉妹友好都市との交流を深めていきます。</p> <p>多文化共生においては、来年度は外国人市民と地域住民とのつながりを深める取組を進めることで、日本人と外国人が共に安心して暮らせるとともに、国籍や文化、言語の違いを超えて、相互に理解し合い活躍できるまちづくりを推進していきます。</p>				

X. (V) 文化芸術活動を振興するとともに、郷土の文化や歴史、自然への理解を深め、観光誘客に活用します

14	文化芸術活動の活性化			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>子どもの頃から、誰もが身近に文化芸術に親しみ、創作活動ができるよう、芸術鑑賞や体験機会の充実を図るとともに、福井市民文化祭や各種文化団体の活動を支援します。</p> <p>また、ふくいバーチャル文化芸術祭を開催し、誰もが参加できる文化芸術活動の発表と鑑賞の場をオンライン上に設けます。併せて動画作成講座を開催し、作品の質の向上と、活動の担い手の育成に取り組めます。</p>				
取組内容	<p>○ふくいバーチャル文化芸術祭（参加者総数：4,252人）</p> <p>作品募集 7/1～10/10（参加者数※ 60人） ※作品出品代表者数</p> <p>作品公開 10/17～11/16（参加者数※ 4,088人） ※イベントページの閲覧者数</p> <p>表彰式（1/23 市長賞：1作品、優秀賞：2作品、審査員特別賞：7作品）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入賞者の作品等をハピテラスの大型ビジョンで放映したほか、市民ホールや市美術館、アオッサでもパネル展示及び放映を行った。</li> </ul> <p>関連事業 映像と文化芸術人材育成事業（動画作成講座）（実施期間5月～9月）</p> <p>初級コース（2回）、中級コース（2コース）を開催 延べ参加者数：104人</p> <p>○市民文化祭（参加者総数：3,084人）</p> <p>展示部門（11/3,4開催、参加者数：2,328人）、芸能大会（11/6開催、参加者数：756人）</p> <p>○文化奨励賞授与式（11/3 受賞者：2人）</p> <p>○文化芸術活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・童謡の日さわやかコンサート（オンラインで開催）</li> <li>参加団体数：8団体、公開期間：9/15～R5.3/31、観覧件数：2,085人</li> <li>・日本伝統芸能鑑賞（能楽）</li> <li>開催日：4/24、会場：ハピリン能楽堂、鑑賞者数：130人</li> <li>・福井芸術文化フォーラムの活動（企画・運営・舞台芸術などの担い手の育成、文化交流の促進、文化芸術活動の広報・情報の提供）への参加者数 1,840人</li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計画</b>			<b>結果・成果</b>		
<p>⑤4 市民文化祭・ふくいバーチャル文化芸術祭の参加者数：9,251人（3年度）</p> <p>→9,300人（4年度）</p>			<p>⑤4 市民文化祭・ふくいバーチャル文化芸術祭の参加者数：7,336人（動画作成講座参加者含む）</p>		
成果・課題	<p>市民文化祭については、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため規模を縮小して開催したため、コロナ禍以前の参加者数には及びませんでした。また、「ふくいバーチャル文化芸術祭」については、参加者の増加を図るため、動画作成講座の開催、作品募集期間の延長、Facebook・インスタグラム等のSNSでの広告を実施しましたが、目標を達成することができませんでした。</p> <p>来年度は市民の文化芸術活動をさらに活発化させるため、文化施設を活用した新たなイベントの開催や市民文化祭の新型コロナウイルス感染防止の制限を緩和し、文化芸術活動を体験できるコーナーを充実して開催することで、より多くの市民が文化活動に参加する機会を創出します。</p>				

15	文化施設の魅力向上			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>北陸新幹線福井開業を見据え、一乗谷朝倉氏遺跡では、新たに開館する県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館と連携し、エリア内の周遊バスの運行や多言語に対応したデジタル案内ガイドの整備等、国内外の観光客を受け入れる環境づくりを行うとともに、復原町並では魅力的な体験メニュー等の充実を図ります。養浩館庭園では、御茶屋建物の内装・外装修繕工事を行うとともに、お茶席やライトアップなどのイベントに加え、新たにアート展示事業を実施し、冬季を含めた庭園の魅力向上を図ります。</p> <p>愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館及びグリフィス記念館では、特別展や企画展を開催し、入館者増加に取り組みます。また、SNS等を活用し、歴史・文化施設の最新情報を広く発信します。</p>				
	取組内容	<p>○一乗谷朝倉氏遺跡復原町並（入場者数：123,814人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡内周遊バス「騎馬武者号」運行（4/2～11/27、土日祝6往復/日）</li> <li>・デジタル案内ガイド「戦国時空伝 一乗谷戦国まち歩き」アプリ導入（10月）</li> <li>・一乗谷朝倉氏遺跡ポータルサイト「ICHIJO-DANI」開設（10月）</li> <li>・復原町並町屋建物屋根等改修工事（6月～12月）</li> <li>・体験イベント「越前朝倉おもてなし&amp;体験 春の陣」（R5.3/25）</li> </ul> <p>○養浩館庭園（入園者数：49,547人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋のライトアップ（10/7～11/27の金土日祝・祝前日の29日間）・庭カフェ（11/12・14）</li> <li>・「御泉水×水仙展」（R5.1/17～31）、「池のほとりのアート展-光-」（R5.2/11～3/10）、</li> <li>「折り紙のアートワーク-ちいさないきものたちをさがそう-」（R5.3/18～26）</li> <li>・御茶屋建物内外装修繕工事（9月～2月）</li> </ul> <p>○愛宕坂茶道美術館（入館者数：12,749人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展：「眼福 美麗なる中国陶磁～京都国立博物館松井コレクションより～」(R4.3/1～5/15)</li> <li>・企画展：「ちっちゃくて可愛い 香合の世界」（5/19～8/21）、「青磁の美」（8/24～11/27）</li> <li>「禅語を味わう」（11/30～R5.2/25）、「振茶」（R5.3/4～5/14）</li> </ul> <p>○橘曙覧記念文学館（入館者数：6,268人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展：「作家たちの休日」（R4.3/12～5/10）、「曙覧さんの虫図鑑」（5/14～10/2）</li> <li>・特別展：「星野富弘 花の詩画展」（10/6～11/20）</li> <li>・企画展：「屏風で楽しむ曙覧の書」（12/1～R5.3/5）、「作家と鳥」（R5.3/9～5/21）</li> <li>・令和独楽吟（作品募集：9/1～11/30、表彰式：R5.3/5）</li> <li>・R3 令和独楽吟入賞作品パネル展（9/6～9 市民ホール、10/3～14 商工会議所）</li> </ul> <p>○グリフィス記念館（入館者数：13,190人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展：「グリフィスと白山と恐竜」（9/1～30）、「月明りの明治維新」（10/1～31）、</li> <li>「開成学校の13人」（R5.2/20～3/19）、その他、写真展等も開催</li> </ul> <p>○SNSによる情報発信（発信数：1,653件）</p>			
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<p>⑤5 主要な歴史・文化施設への入場者数 ：134,047人（3年度）→220,000人（4年度）</p>	<p>⑤5 主要な歴史・文化施設への入場者数 ：205,568人</p>				
成果・課題	<p>文化施設入場者数は、新型コロナウイルスの影響から、目標数値には届きませんでした。しかしながら、養浩館庭園では、閑散期となる1月から2月において、水仙展やアート展を開催し、多くの入場者があったことで、コロナ禍以前の水準まで回復しました。</p> <p>来年度は、養浩館庭園の開園30周年を記念するイベントを開催するとともに、橘曙覧記念文学館等の3館合同のグッズを制作するなど、各施設の更なる魅力向上を図ります。</p>				

16	魅力ある文化資源等を活用した観光誘客の促進			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>ふくい嶺北連携中枢都市圏の市町等と連携し、地域の特色ある歴史や文化財等について、合同出張ミュージアムを開催する他、日本遺産「石がたり」について広く魅力を発信し、観光誘客や交流人口の増加につなげます。</p> <p>また、東日本連携・創生フォーラムを活用し、令和6年春の北陸新幹線福井開業に向けた、観光周遊を促進する仕掛けづくりとして、「庭園・城」をテーマとした連携事業の推進に取り組みます。</p>				
	取組内容	<p>○ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同出張ミュージアムの開催（「近代化遺産」をテーマとするパネル展示を各市町で実施） 期間：7/30～R5.3/26、会場：郷土歴史博物館外12施設 13回開催</li> <li>・ 文化芸術イベントチラシの発行（R4.10月～R5.3月開催分：R4.9月発行）、 （R5.4月～9月開催分：R5.3月発行）</li> <li>・ 文化資源パンフレットの発行（テーマ「自然と人が織りなす風景」、R5.3月発行）</li> </ul> <p>○日本遺産の活用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定ガイドの養成講座（応用編：2/15、3/1、基礎編：2/21、3/8）</li> <li>・ 認定ガイドスキルアップセミナー（10/15）</li> <li>・ 未来の語り部育成（一乗小学校：11/11）</li> <li>・ ワークショップ（観光コンテンツ開発）の開催（9/14、20、28、12/12）</li> <li>・ 日本遺産フェスティバルの開催（ガイドツアー、歴史講座、パネル展）3,275人 開催日：11/5～6、会場：アオッサ他（福井市、勝山市）</li> </ul>			
<b>指 標</b>					
<b>計画</b>			<b>結果・成果</b>		
<p>合同出張ミュージアム開催 ：11回（3年度）→12回（4年度）</p> <p>日本遺産フェスティバル参加者数 ：693人（3年度）→700人（4年度）</p>			<p>合同出張ミュージアム開催：13回</p> <p>日本遺産フェスティバル参加者数：3,275人</p>		
成果・課題	<p>ふくい嶺北連携中枢都市圏の連携事業については、新型コロナウイルスの影響で減少した連携市町の文化施設の入館者数を増加させるため、昨年度発行した文化資源パンフレット「近代化遺産」の巡回パネル展を、市内で3カ所、全体では13カ所で開催しました。来年度は、今年度発行した文化的景観を紹介するパンフレットを基に、巡回パネル展を開催するなど、引き続き連携市町の交流人口と文化施設入館者の拡大に取り組みます。</p> <p>日本遺産フェスティバルについては、福井城址や一乗谷朝倉氏遺跡等のガイドツアーを開催するとともに、新たに日本遺産「石がたり」のさらなる周知を図るため、日本遺産の構成文化財である一乗谷朝倉氏遺跡復原町並や養浩館庭園において日本遺産のパネル展を開催したことで、目標を大きく上回る参加者がありました。</p> <p>令和2年度から参加している東日本連携・創生フォーラムにおいては、10月に「戦国の城」「安らぎの景色」をテーマにした観光地カードの配布による周遊促進事業を提案し、採択されました。来年度は、構成市町のうち4都市が連携して事業をスタートするとともに、カード取得を目的とした入館者数等の実績を上げることで、連携都市間の交流人口の拡大と6年度以降の参加都市の増加を図ります。</p>				

17	<b>自然史博物館企画展等の開催と セーレンプラネットの運営</b>			<b>達成度</b>	
<b>実 行 内 容</b>					
<b>行動目標</b>	<p>自然史博物館では市民や観光客に足羽山周遊を楽しんでもらえるよう、足羽山ビジターセンターを起点に情報を発信していくとともに、企画展等を通じて福井の豊かな自然を学べる博物館を目指します。また、セーレンプラネットでは魅力あるプラネタリウム番組や特別展をはじめ、ハピリンや周辺施設、交通事業者等との連携イベントを開催するとともに、テレビ、新聞、ホームページ、SNS等、多様なメディアを効果的に活用して集客に努めます。</p> <p>本館は県内唯一の自然科学の総合博物館として、セーレンプラネットはまちなかの宇宙や天文の専門博物館として、自然科学への関心を高めてもらう取組を推進します。</p>				
<b>取組内容</b>	<p>○本館での主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苔の企画展 (3/19～5/29) ※若い女性を中心に幅広い世代から好評を得る。 6,051 人</li> <li>・ ふくいの石の企画展 (7/16～10/16) ※笈谷石など、福井の石の魅力を紹介。 4,960 人</li> <li>・ ふくいの星空写真展 (11/5～30) ※福井の星空の撮影愛好家の 64 作品を展示。 1,554 人</li> <li>・ 千支展「卯」(1/7～2/5) ※千支にちなみ、ウサギの生態や関連資料を展示。 647 人</li> <li>・ ニホンオオカミ頭骨の解析 (10/7～3/14) ※令和 6 年春の新幹線開業記念イベントで特別公開。</li> <li>・ 足羽山むしむしスクール (年 10 回) ※小中学生(7 人)を対象に、自然科学分野で研究意欲を持った人材を育成するための専門スクールを開校。</li> <li>・ バードウォッチング等の野外観察会や自然史講座 (年 31 回)、屋上での天体観望会 (年 9 回)</li> </ul> <p>○セーレンプラネットでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国立天文台教授によるブラックホール講演会 (4/16) ※県内外から 169 人の天文マニアが来場。</li> <li>・ ベビープラネタリウム (6/11、9/23、12/10、3/21) ※分館一の人気イベント。チケット即売完。</li> <li>・ 特撮ヒーロー (ウルトラマン・仮面ライダー) 番組の投映 (4/29～5/5)</li> <li>・ 人気キャラクターキキ&amp;ララの特別展 (7/23～8/28) ※子ども連れの家族から好評を得る。</li> <li>・ 300 匹のスズムシに囲まれてのプラネタリウム (8/15～21) 296 人</li> <li>・ L I N E による情報発信を 10 月から開始 (令和 5 年 3 月末現在の登録数：1,336 件)</li> <li>・ e スポーツイベント (10/1、2)、プロオーケストラ奏者による星空コンサート (10/10)</li> <li>・ 福井県出身の惑星火山学者による火星講演会 (1/14) ※サイエンス部の高校生などが来場。</li> <li>・ 女性活躍推進と連携しての婚活イベント (1/22) ※男女 35 人が参加。18 人の引き合わせ成功。</li> <li>・ 人気アニメーション声優による星空朗読劇 (3/4、5) ※県内外から 600 人のファンが来場。</li> </ul>				
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
<b>総</b> 56 自然史博物館及びセーレンプラネット 施設利用者数：92,000 人			<b>総</b> 56 自然史博物館及びセーレンプラネット 施設利用者数：94,420 人		
<b>成果・課題</b>	<p>今年、開館 70 周年を迎えた本館では、開館当時の復興博覧会の映像等でこれまでの歩みを振り返るなど、「歴史ある県内唯一の自然科学の総合博物館」を発信してきました。</p> <p>また、セーレンプラネットの利用者数については、好調だった前年度 (令和 3 年度) をさらに上回り、2 年連続の増となりました。</p> <p>最近では、セーレンプラネットの集客力に企業が関心を持ち、イベントのスポンサー企業も年々増えるなど、開館 7 年目にして着実にファンやリピーターも定着していると考えます。</p> <p>今後は、地域や学校などとオンラインでつながり、どこからでも博物館学習ができる環境を整備するなど、博物館におけるDX化を推進していきます。また、新幹線福井開業による利用増を見据え、当館でしか見ることのできないお宝収蔵品の公開や、ドームシアターでの恐竜番組の投映などにより、まちなかの賑わい創出に努めます。</p>				

18	美術館企画展等の開催			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>幅広い年代層が美術に親しめるよう、現代美術や写真、貼り絵、ペン画、浮世絵など、多彩な作品を紹介する企画展を開催します。企画展では、作品をより身近に感じられるよう解説会や制作体験などを実施するとともに、他の文化施設等と連携を取りながら広域的な情報発信を図り、観光誘客に努めます。</p> <p>また、創造性を養い刺激するようなプログラムにより、子どもから高齢者までが楽しめる創作の機会を提供します。</p>				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「木梨憲武展 Timing-瞬間の光り-」の開催（4月～5月：33日間） <span style="float: right;">28,091人</span>        〈関連イベント〉・アトリエチャレンジ：「紙皿で描こう」</li> <li>○ 『写真展「星野道夫 悠久の時を旅する」』（7月～8月：51日間） <span style="float: right;">7,851人</span>        〈関連イベント〉・記念講演会&amp;サイン会：星野直子氏（星野道夫事務所代表）        ・作品解説会 ・星野さんの絵本の読み聞かせ会 ・星野道夫を読む会        ・出前図書館 ・サクソフォンコンサート        ・アトリエチャレンジ「動物のお面をつくろう」</li> <li>○ 「生誕100年 山下清展-百年目の大回想展」（9月～11月：56日間） <span style="float: right;">26,796人</span>        〈関連イベント〉・記念講演会：山下浩氏（山下清作品管理事務所代表）        ・作品解説会 ・アトリエチャレンジ「簡単貼絵」        ・簡単貼絵コンテスト（特別協賛：福井信用金庫）</li> <li>○ 「浮世絵師 歌川国芳展」（2月～3月：31日間） <span style="float: right;">5,673人</span>        〈関連イベント〉・対談会：前田詩織氏（元中山道広重美術館学芸係長）×担当学芸員        ・作品解説会 ・浮世絵版画のスタンプラリー（5カ所）        ・アトリエチャレンジ「カラー版画制作を体験」、「国芳のぬり絵」</li> </ul>			
<b>指 標</b>					
<b>計画</b>			<b>結果・成果</b>		
⑤4 企画展入場者数 : 77,958人（3年度）→82,500人（4年度）			⑤4 企画展入場者数：68,411人		
成果・課題	<p>今年度の企画展は、知名度の高い作家の作品展もあり、幅広い年代層が親しめる内容として開催したものの、目標を達成することはできませんでした。</p> <p>その主な要因として、10月までの半年間はコロナの影響により、学校等の団体鑑賞がほとんどなかったことや多くの入場者を見込んでいた当館歴代1位の入場者数（52,646人）を誇る「山下清展」でも、30代以下の若年層の入込が少なかったことによるものと考えます。</p> <p>しかし、関連イベントの「山下清展：簡単貼絵コンテスト」には286点もの子どもの力作が集まり、講演会や対談会、作品解説会には作家や作品に興味を持たれた多くの方が参加されるなど、企画展アンケートでは96%の方に「満足」という回答をいただきました。</p> <p>来年度は、若者が興味を惹くような現代美術や、美術ファン向けの近代絵画、世代を超えて楽しめるミニチュア写真など、いろいろなジャンルの作品を紹介するとともに、講演会や解説会、制作体験などを通して作品に親しみを感じてもらえるようにし、県内外からの誘客に努めます。</p>				

19	郷土歴史博物館企画展等の開催			達成度	
<b>実行内容</b>					
行動目標	<p>結城市との友好都市提携 20 周年を機に、その縁を結んだ初代福井藩主結城秀康を軸に福井藩と下総結城氏との関係を紹介する企画展を開催します。間近に迫った北陸新幹線福井開業を見据え、より身近になる関東との結びつきについて情報発信します。</p> <p>秋季特別展では、江戸時代から明治大正にかけて美しく洗練された婚礼について、館蔵品のほか宮中、武家や庶民の婚礼という華やかな儀式を演出する品々を紹介し、日本の美しい伝統と心を伝えます。</p> <p>また、市民の方に郷土の魅力を再発見し発信してもらえるよう、館蔵品から学芸員が厳選した資料やまちなかに残る朝倉氏の痕跡を展示します。</p>				
	取組内容	<p>○春季特別陳列「みんなで選ぶ！博物館の宝」(5/21～7/3) <span style="float: right;">2,908 人</span>        〈関連イベントの実施〉・最優秀展示資料の決定：部門別に「イチ推し」だと思ふ展示品に投票        ・ギャラリートーク：7 回開催</p> <p>○夏季特別陳列①「関東の名族 結城氏と福井」        ②「祝いの小箱 ボンボンニエール」(7/23～8/28) <span style="float: right;">3,695 人</span>        〈関連イベントの実施〉・ワークショップ「ボンボンニエールをつくろう！」：2 回開催        ・ギャラリートーク：4 回実施</p> <p>○秋季特別展「寿ぎのきもの ジャパニーズ ウエディング -日本の婚礼衣装-」(10/8～11/23) <span style="float: right;">6,884 人</span>        〈関連イベントの実施〉・記念講演会「近世・近代の婚礼衣装」：1 回開催        ・ワークショップ「水引きアクセサリを作ろう」、「水引きと越前和紙でポチ袋を作ろう」：各 1 回開催        ・見どころ講座：1 回開催        ・ギャラリートーク：2 回開催</p> <p>○春季特別展「いまに残る一乗谷の記憶」(R5/3/21～5/7) <span style="float: right;">R4 年度観覧者 795 人</span>        〈関連イベントの実施〉(R4 年度)・ギャラリートーク：1 回</p>			
<b>指 標</b>					
<b>計 画</b>			<b>結 果・成 果</b>		
企画展の入場者数 ：16,080 人 (3 年度) →26,200 人 (4 年度)			企画展の入場者数 ：14,282 人		
成果・課題	<p>今年度の企画展のうち、令和 4 年春季は例年と異なり、春休みからゴールデンウィークをさけて 6 月を中心に開催しました。行楽期をはずした影響が心配されましたが、当館資料の名品を一同に紹介したことと、観覧者に気に入った展示品を選んで投票してもらおう参加型としたことなどで、好評を得ることができました。</p> <p>また、秋季は日本の婚礼衣装をテーマとしたところ、女性の方、特に和装の方に多く鑑賞していただき、通常と異なる層に来館していただく機会となりました。これは、夏のボンボンニエール展をはじめとした当館学芸員の特質を生かした美術史の展示が浸透してきた効果もあると思われます。</p> <p>しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全体の入館者数では、前年度並みの結果となり目標を達成することはできませんでした。</p> <p>来年度は、当館の強みである福井藩関連の歴史や学芸員の特質を活かした仏像の展示、6 年春の新幹線福井開業にあわせ福井の鉄道の歴史にスポットを当てた展示を開催していきます。また、橋本左内をテーマにした事業を通じて、当館への関心を高めてもらえるよう努めます。</p>				